



2019年6月27日
東日本旅客鉄道株式会社
仙台支社

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 準備について

1年後にせまった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、全てのお客さまが快適にご利用いただけるよう、各自治体等と連携しながら取り組んでいきます。

1 会場最寄駅等の改良

JR東日本仙台支社管内の仙台駅ならびに会場最寄駅において、「Tokyo2020 アクセシビリティガイドライン※」に対応したバリアフリー化、案内・情報提供、駅美化を目的として、駅の改良に取り組んでいきます。

改良は2019年4月より順次着手しており、2019年度末までに完了予定です。

※ 各会場のアクセシビリティに配慮が必要なエリアと、そこへの動線となるアクセシブルルート、輸送手段、組織委員会による情報発信・表示サイン等のバリアフリー基準、ならびに関係者の接遇トレーニング等に活用する指針。

内容	箇所	バリアフリー化	案内・情報提供	駅美化
誘導・警告タイル改良 A: 視認性向上 B: 最新の規格への改良	仙台駅 1階 ^A	○		
	多賀城駅 1階南北通路 ^A	○		
	福島駅 2階新幹線改札内 ^B 西口2階在来線改札内外 ^B	○		
エレベーター改良 (エレベーター内鏡改良)	仙台駅 改札外北側 在来線改札内	○		
旅客トイレ改良 C: 多目的トイレ改良、洋式化 D: 修繕・美化等	仙台駅 仙石線 ^C 3階改札外 ^D	○		○
	福島駅 1階西口鉄道警察隊脇 ^C 1番線ホーム ^C 2階西口改札内 ^D	○		○
案内サイン4ヶ国語表記・LED化	仙台駅 新幹線・在来線ホーム		○	○
	福島駅 新幹線ホーム			○
駅内壁改良	仙台駅 新幹線中央のりかえ改札外			○
コンコース床改良	仙台駅 新幹線中央のりかえ改札外 西口2階改札外【図1、2】 3階南口改札内			○
	福島駅 西口2階改札内外 2階在来線改札内			○
旅客上家改良	利府駅 1、2番線ホーム			○
	福島駅 1番線ホーム			○
ホーム舗装改良	仙台駅 1番線ホーム			○
福島駅西口大ひさし改良	福島駅 西口【図3】			○

○仙台駅西口2階改札外 コンコース床改良

床のデザインは、仙台城本丸大広間をイメージしたデザインとしています。



【図1】 3階からの完成イメージ



【図2】 2階からの完成イメージ

※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

○福島駅西口 大ひさし改良

福島県産材を利用し、福島市と共同で整備する予定です。



【図3】 西口大ひさしイメージ

※現時点でのイメージであり、実際と異なる場合があります。

2 会場最寄駅等における各自治体等との連携

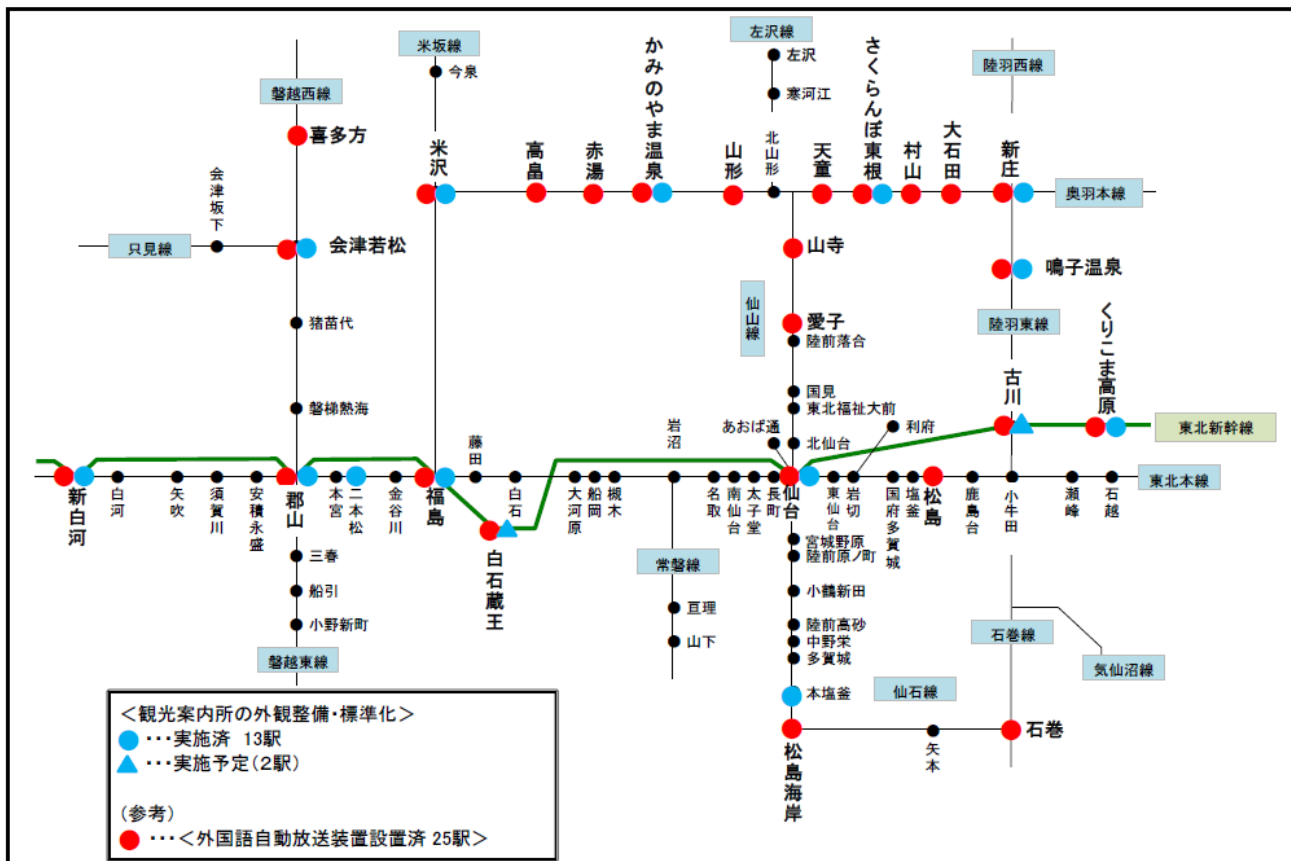
- ・ 大会期間中の輸送計画については、現在検討中です。
- ・ 宮城県・福島県の「都市ボランティア」と連携し、駅構内等におけるご案内の強化を図ります。
- ・ 福島県・福島市と連携し、福島駅2階在来線改札内や福島駅西口への装飾について、検討を進めます。
- ・ 利府駅の共有スペースを、利府町と協力して整備する予定です。
- ・ 今後も各自治体等と連携し、全てのお客さまが快適にご利用いただけるよう、取り組んでいきます。

3 東北を訪れるインバウンドのお客さまに向けた取り組み

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、東北を訪れるインバウンドのお客さまに向け、自治体と連携した観光案内所の外観整備・標準化等の駅改良を実施します。

○改良実施予定（2 駅）

白石蔵王駅、古川駅（その他の駅についても検討しております。）



【図 4】観光案内所外観整備・標準化実施箇所

なお、JR東日本は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックオフィシャルパートナー（旅客鉄道輸送サービス）です。



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)